

JAPN 4160

Speech Draft

私の一番好きなしゅみはミニアチャー作ること。これは世界的なしゅみです。日本で最高の制作会社があります。バンダイやコトブキヤやタミヤという会社は世界中にミニアチャーを販売します。様々なキットの種類があります。飛行機や車や電車や戦車は人気です。

このキットの日本国外への郵送料は高いです。キットの製造は日本と中国でされています。そしてあのキットは海を渡って送られるので高いです。キットはたくさんゴミを生うんで、箱とカバーとルンナーはプラゴミになります。バンダイという会社はミニアチャーのキットとゲームの製品をたくさん販売しています。バンダイのキットの種類はガンダムと仮面ライダーと30ミニツミションと余です。バンダイもプラレサイクリングのプログラムがありました。民衆は古いルンナーを店にくれる、そしてバンダイは古いプラチックを新しいキットにすることがでいます。エコプラというプログラムです。モデルについてさらに詳しく説明するために、モデルを構築するプロセスについて説明します。

私の一番好きなキットはバンダイのガンダム「ガンプラ」キットです。このキットの中には様々な大きさのものがありますが、これはミニアチャーの規模に基づきます。

1/144、1/100、1/72、と1/60規模のキットがあります。大型化キットの値段は高くなります。だから学生は、よく1/144キット作ります。1/144キットはHG「ハイグレー

ド」とRG「レイルグレード」がありますから、RGはもっと高いです。でも、HGキットは詳しいです。

を作るには、大まかに言って5つのステップがあります。それは、切断、研磨、塗装、細部の仕上げ、そして組み立てです。

切断プロセスでは、ランナーからパーツを取り除きます。整理するには、ホビー用バリカンを使用してランナーからモデルのパーツを取り除き、切断点に大きな切り込みが残らないようにします。

研磨は、各ピースが完璧に見えるように行われます。この最初の部分は、切断プロセスで残った余分な材料を取り除くことです。これは、鋭いホビーナイフと低目のサンドペーパーを使用すると簡単にできます。ピースをランナーに接続している場所の周りを研磨すると、ピースが完璧に見えるようになります。

パーツを研磨した後、ウォータースライドデカールを貼り付け、パネルラインを描きます。ほとんどのモデルキットにはウォータースライドデカールシートが含まれています。シートからデカールを切り取り、水に浸します。1分後、キューティップを使用してデカールステッカーをモデルパーツにスライドさせることができます。通常、モデルの説明にはデカールの位置のガイドがあります。パネルラインは、シャーピーまたはパネルラインペンを使用して、パーツの角に線を引きます。

仕上げとニス塗りには、ダメージ効果の追加と保護クリアコートの追加が含まれます。ダメージ効果には、さまざまな暗い色を使用して、ピースの外側の角に塗布します。この後は仕上げのステップです。このために、マットまたはグロスコートを選択できま

す。すべてのピースのすべての面にそのコーティングをスプレーします。これにより、デカールとペイントが損傷しないようにできます。その後、乾燥するまで待ちます。

最後に、モデルを組み立てます。キットによっては、組み立てに接着剤が必要な場合があります。キットのガイドに従って、部品を組み立てます。少し時間がかかるかもしれませんが、これでモデルは完成です。